

施工 パッケージ

施工パッケージを積算する

施工パッケージの積算方法をご説明します。

1. 施工パッケージを積算する

「本工事費内訳書」画面にて、ツールバーの



をクリックします。

「工種」画面が表示されます。




メニューバーの [単価] - [積算] でも同様です。

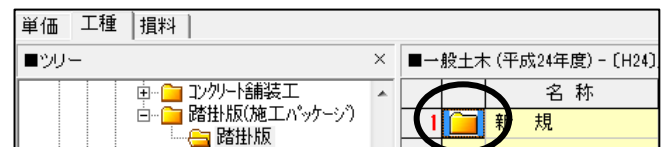
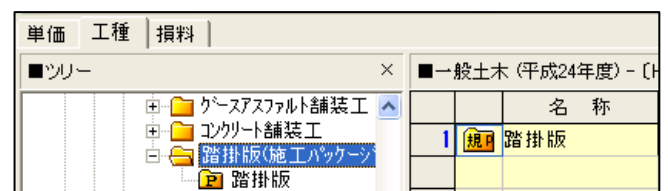


2. 自動積算を行う

工種ツリーにて施工パッケージの工種を選択し、画面右側に表示される「新規」フォルダをダブルクリックします。



「工種」画面右側にて、「名称」欄の左にある  をダブルクリックすると、選択した規格が自動で「本工事費内訳書」に挿入されます。



自動積算が開始されます。

3. 選択内容を指定する（例：踏掛版）

画面後ろの「選択内容」にてカーソル（→）がある項目に対する「質問表」が表示されます。「質問表」のあてはまる条件にカーソルを合わせ、[確定] をクリックします。

「質問表」のあてはまる条件にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押しても同様です。

年度、工種により選択内容は異なります。

No	質問内容	選択内容
1	コンクリート規格	②021-8-25(高戸)
2	鉄筋量	0.08t/m3以上0.10t/m3未満
3	ゴム支承の有無	
4	鉄筋材料 規格・径	
7	鉄筋材料 規格・径	
8	鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295・D10	
9	鉄筋コンクリート用棒鋼の単位選択	
10	遊歩目地板 厚10mm	
11	ゴム支承の有無	
12	ゴム支承 コンクリート用緩衝ゴム SBR	
13	鉄筋工 加工・組立共 一般構造物	
14	確定	

質問表: ゴム支承の有無
有り [確定]
無し [前質問]

4. 確定する

選択内容を確認し、選択した条件が正しければ、ツールバーの [確定] をクリックします。

「選択内容」欄の [確定] にカーソルを合わせ、クリックしても同様です。

No	名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考	数量×計量	単価×計量	ユーザ
1	コンクリートポンプ車	7.5m式・圧送能力90/110m3/h	供用日	0.017	47,900	-				0902-022-1
2	普通作業員		人	0.155	13,700	-				
3	型枠工		人	0.083	17,500	-				
4	特殊作業員		人	0.047	16,600	-				
5	土木一般世話役		人	0.036	18,500	-				
6	コンクリート	21-8-25(高戸)生コンクリート積層型無	m3	1.076	8,500	-				

5. 数量を入力する

「本工事費内訳書」に戻ります。「数量」を入力し、[Enter] キーを押します。

本工事費内訳書						直接工
付帯	費目/工種/種別/細別/規格	数量	単位	単価	金額	
1	踏掛版 20)21-8-25(高戸) 0.08t/m3以上0.10	1	m3	27,560	27,560	



をダブルクリックすると施工パッケージの表内容が表示されます。

The screenshot shows the 'Gata9' software interface. The main window displays a table titled '1号代価表' (1st Package Price Table). The table has columns for '名称 / 規格' (Name / Specification), '参考数量' (Reference Quantity), '単位' (Unit), '単価' (Unit Price), '金額' (Amount), and '摘要' (Summary). The table lists 14 items, including machinery, labor, and materials. At the bottom of the table, it shows '1m3当り' (per 1m3) and a total amount of '27,560 円' (27,560 Yen). A callout box points to the unit price for 1 package.

付箋	名称 / 規格	参考数量	単位	単価	金額	摘要
1	コンクリートポンプ車 ガム式・圧送能力 30~110m ³ /h	0.017	供用日	47,300	-	[H24建設機械等排 [0903-022-110-01
2	その他 (機械)		式		-	{自動集計費目計
3	普通作業員	0.155	人	13,700	-	[H24]
4	型わく工	0.088	人	17,500	-	[H24]
5	特殊作業員	0.047	人	16,600	-	[H24]
6	土木一般世話役	0.036	人	18,500	-	[H24]
7	その他 (労務)		式		-	{自動集計費目計
8	コンクリート 21-8-25 (20) (高炉) 生コンクリート夜間割増無	1.076	m ³	8,500	-	2号代価表
9	異形棒鋼 SD345 D13mm 0.395kg/m	0.097	t	62,000	-	[建設物価H24.04
10	コンクリート用 SBR 10mm 単層	0.105	m ²	10,000	-	[建設物価H24.04
11	目地板 遮音質板 T10mm	0.65	m ²	930	-	[建設物価H24.04
12	その他 (材料)		式		-	{自動集計費目計
13	鉄筋工 (太径鉄筋含む) (加工・組立) 一般構造物 10t以上 (標準) 制約無 夜間無	0.089	t	53,130	-	3号代価表
14	諸雑費		式		-	{自動集計費目計

1m3当り 27,560 円

1パッケージ当りの単価が表示されます。

6. 施工パッケージの積上詳細を確認する

施工パッケージの表内容を表示した状態で「積上詳細」タブをクリックします。

- ・施工パッケージ表の「名称」「規格」「単位」「単価（積算地区単価）」の確認・編集、「参考数量」の確認を行うことができます。
- ・本工事費内訳書にて [表示] メニューの [参考数量を表示する] をクリックすることにより参考数量の表示／非表示を切り替えることができます。

積上詳細		計算根拠		1号代価表				再実行	1	m3
付箋	名称 / 規格	参考数量	単位	単価	金額	摘要				
1	コンクリートポンプ車 7 th -6式・圧送能力 90~110m ³ /h	0.017	供用日	47,300	-	[H24建設機械等指 [0903-022-110-01				
2	その他（機械）		式		-	{自動集計費目計:				
3	普通作業員	0.155	人	13,700	-	[H24]				
4	型わく工	0.083	人	17,500	-	[H24]				
5	特殊作業員	0.047	人	16,600	-	[H24]				
6	土木一般世話役	0.036	人	18,500	-	[H24]				
7	その他（労務）		式		-	{自動集計費目計:				
8	コンクリート 21-8-25(20)(高炉)生コンクリート夜間割増無	1.076	m ³	8,500	-	2号代価表				
9	異形棒鋼 SD345 D13mm 0.395kg/m	0.097	t	62,000	-	[建設物価H24.04				
10	コンクリート SBR 10mm 単層	0.105	m ²	10,000	-	[建設物価H24.04				
11	目地板 遮音質板 T10mm	0.65	m ²	930	-	[建設物価H24.04				
12	その他（材料）		式		-	{自動集計費目計:				
13	鉄筋工(太径鉄筋含む)(加工・組立) 一般構造物 10t以上(標準)制約無 夜間無	0.089	t	53,130	-	3号代価表				
14	諸雑費		式		-	{自動集計費目計:				

1m³当り 27,560 円



- 編集可能な箇所は背景が白、編集不可（確認のみ）の箇所は背景が黄で表示されています。
- 「施工パッケージ表」内に単価等を追加しても、施工パッケージ補正単価算出時の計算（計算根拠表、計算根拠式）には反映されません。よって施工パッケージ当たり単価も変わりません。



●その他・諸雑費行について

・その他・諸雑費行は、間接工事費の対象設定がされた項目の金額計算の際に必要なため、自動積算確定時および再計算時に作成されます。

※その他行とは : 施工パッケージの機械費、労務費、材料費、市販単価の各々の構成比率に対する調整行

※諸雑費行とは : 施工パッケージ全体の構成比率に対する調整行

2	<input type="checkbox"/>		その他 (機械)		式		-	{自動集計費目計算用}
---	--------------------------	--	----------	--	---	--	---	-------------

・その他・諸雑費行の単価や単価率を訂正しても、施工パッケージ当たり単価の計算には反映されません。

・その他・諸雑費行は、施工パッケージの計算根拠表および式には表示されません。

・その他・諸雑費行は、一覧表、別工事参照、数量表には表示されません。

・その他・諸雑費行は削除できません。削除した場合でも自動的に最下行に再作成されます。



●施工パッケージ表内の数量、数量表の数量、Excel等で外部出力される数量はあくまでも参考値です。

●参考数量は以下の計算式により算出しています。(機械の例)

$$\text{参考数量} = \text{標準単価} * (\text{各行の代表機労材規格の構成比}) * (\text{構成比の端数調整}) / \text{基準地区単価} * (\text{分子掛率} / \text{分母掛率})$$

$$\text{参考数量} = P * (K1r / 100) * (Kr / K1r + K2r + K3r) / K1t * (\text{分子掛率} / \text{分母掛率})$$

※実際の例 (コンクリートポンプ車)

$$0.017 = 30850 * (2.64 / 100) * (2.72 / 2.64) / 47400 * (1 / 1)$$

参考数量 : 0.017

標準単価 : P (実際の例 30850)

コンクリートポンプ車の構成比 : K1r (実際の例 2.64)

機械費全体の構成比 : Kr (実際の例 2.72)

コンクリートポンプ車の標準地区単価 : K1t (実際の例 47400)

分子掛率 : 分子掛率 (実際の例 1)

分母掛率 : 分母掛率 (実際の例 1)

7. 施工パッケージの計算根拠を確認する

施工パッケージの表内容を表示した状態で「計算根拠」タブをクリックします。

- ・上段：「施工パッケージ型積算方式標準単価表」に定められている「機労材構成比」、「代表機労材規格」、「基準地区（東京地区）単価」、「積算地区単価」を確認することができます。
- ・下段：計算根拠として、「施工パッケージ型積算方式標準単価表」に定められている補正式を用いた計算内容を表示します。

積上詳細		計算根拠					
計算根拠 この施工パッケージの計算根拠を表示しています。							
No		名称 / 規格	構成比	基準地区単価	積算地区単価	分子掛率	分母掛率
1	K		2.72				
2	K1	コンクリートポンプ車 パーム式・圧送能力 90~110m ³ /h	2.64	47,400	47,300	1	1
3	R		16.2				
4	R1	普通作業員	5.77	13,600	13,700	1	1
5	R2	型わく工	3.8	16,600	17,500	1	1
6	R3	特殊作業員	2.19	16,900	16,600	1	1
7	R4	土木一般世話役	1.88	18,900	18,500	1	1
P'積算地区補正単価 = 30,850 $\begin{aligned} & \times \left\{ \left(\frac{2.64}{100} \times \frac{47,300}{47,400} \right) \times \frac{2.72}{2.64} \right. \\ & + \left(\frac{5.77}{100} \times \frac{13,700}{13,600} + \frac{3.8}{100} \times \frac{17,500}{16,600} + \frac{2.19}{100} \times \frac{16,600}{16,900} + \frac{1.88}{100} \times \frac{18,500}{18,900} \right) \times \frac{16.2}{(5.77 + 3.8 + 2.19 + 1.88)} \\ & + \left(\frac{41.34}{100} \times \frac{8,500}{12,500} + \frac{19.08}{100} \times \frac{62,000}{63,500} + \frac{3.24}{100} \times \frac{10,000}{10,000} + \frac{1.86}{100} \times \frac{930}{930} \right) \times \frac{69.12}{(41.34 + 19.08 + 3.24 + 1.86)} \\ & + \left(\frac{11.96}{100} \times \frac{53,130}{41,000} \right) \\ & \left. + \frac{100 - 2.72 - 16.2 - 69.12 - 11.96}{100} \right\} = 27,560 \text{ (円/m}^3\text{)} \end{aligned}$							
参考数量は以下の計算式により算出しています。（機械の例） 参考数量 = 標準単価 * (各行の代表機労材規格の構成比) * (構成比の端数調整) / 基準地区単価 * (分子掛率 / 分母掛率) = P * (k1r / 100) * (kr / (k1r + k2r + k3r)) / k1t * (分子掛率 / 分母掛率)							
コピー(P)							



《制限事項・注意事項》

●要素表示について

「施工パッケージ表」の金額はすべて諸雑費で設定されている要素と同じ要素で集計されます。(※通常は経費に集計されます。)

The screenshot shows a software interface with a table titled "本工事費内訳書" (Main Work Cost Breakdown) and a pie chart titled "要素率グラフ" (Element Rate Graph). The table has columns for "名称 / 規格" (Name / Specification), "合計" (Total), "材料費" (Material Cost), "労務費" (Labor Cost), "外注費" (Outsourcing Cost), "経費" (Overhead Cost), and "欄" (Column). The pie chart shows a single blue slice representing 100% of the total cost, with a legend indicating "経費 27,560" (Overhead Cost 27,560).

名称 / 規格	合計	材料費	労務費	外注費	経費	欄
路掛板 (20)21-8-25(高炉) 0.08t/m3以上0.10t/m3未	27,560				27,560	

●計算根拠表の「構成比」は、すべて加算しても100にならない場合があります。

●Excel出力計算式版について

「施工パッケージ表」をExcel出力計算式版で出力する場合、施工パッケージ補正単価算出時（計算根拠式）の計算式は、Excelに組み込まれずに出力されます。施工パッケージ補正単価は、出力時にすでに計算根拠式で算出されている固定の単価です。

施工 パッケージ

施工パッケージ計算根拠表

計上された施工パッケージ表の内訳を表示、編集することができます。

1. 計算根拠表を表示する

施工パッケージの表内容を表示した状態で、「計算根拠」タブをクリックします。

積上詳細		計算根拠					
計算根拠							
この施工パッケージの計算根拠を表示しています。							
No		名称 / 規格	構成比	基準地区単価	積算地区単価	分子排率	分母排率
1	K		9.54				
2	K1	モータレーダ【排出ガス対策型(第1次基準値)】 油圧式・フレート幅3.1m	3.46	14,800	15,300	1	1
3	K2	ロッド【排出ガス対策型(第1次基準値)】 2軸・L・質量10"12L・線径φ幅2.1m	2.73	11,100	11,700	1	1
4	K3	クワ【排出ガス対策型(第1次基準値)】 質量8"20L	2.55	10,400	10,800	1	1

2. 各項目を編集する

- ① 「施工パッケージ計算根拠表」にて、編集したい項目にカーソルを合わせ、ダブルクリックすると入力できます。



カーソルを合わせ、[Enter] キーを押しても同様です。

積上詳細		計算根拠					
計算根拠							
この施工パッケージの計算根拠を表示しています。							
No		名称 / 規格	構成比				
1	K		9.54				
2	K1	モータレーダ【排出ガス対策型(第1次基準値)】 油圧式・フレート幅3.1m	3.46				

ここでは例として構成比の値を 3.46 から 3.47 に変更します。

②項目を入力し、[Enter] キーを押すと、
確定されます。



「施工パッケージ計算根拠」内の
項目で編集できるのは、「構成比」
「基準地区単価」「積算地区単価」
「分子掛率」「分母掛率」です。

積上詳細		計算根拠	
計算根拠 この施工パッケージの計算根拠を表示しています。			
No		名称 / 規格	構成比
1	K		9.54
2	K1	モータレクタ[排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧式・フレッド幅3.1m	3.47



- 計算根拠表の「積算地区単価」を編集することにより、積上詳細画面の「単価」に値が反映されます。
※積上詳細画面の単価を編集した場合、計算根拠表の「積算地区単価」に値が反映されます。

・計算根拠表

No		名称 / 規格	構成比	基準地区単価	積算地区単価	分子掛率	分母掛率
1	K		9.54				
2	K1	モータレクタ[排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧式・フレッド幅3.1m	3.48	14,800	15,300		1

・積上詳細画面

1		モータレクタ[排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧式・フレッド幅3.1m	0.001	供用日	15,300
---	--	---	-------	-----	--------

- 計算根拠表の「積算地区単価」は、積上詳細画面の「単価」と同様に単価率の変更が可能です。

2	K1	モータレクタ[排出ガス対策型(第1次基準値) 油圧式・フレッド幅3.1m	3.47	14,800	15,300	1
---	----	---	------	--------	--------	---

- 計算根拠表での「K」は「機械費」、「R」は「労務費」、「Z」は「材料費」、「S」は「市場単価」を表しています。



● 計算根拠表の「分子掛率・分母掛率」について

※実際の例（モータグレーダ、ロードローラ）

- ・ 計算根拠表の①「分子掛率」、②「分母掛率」を修正することによって、計算式の途中に掛率を掛けることができます。


計算根拠						①	②
この施工パッケージの計算根拠を表示しています。							
No		名称 / 規格	構成比	基準地区単価	積算地区単価	分子掛率	分母掛率
1	K		9.54				
2	K1	モータグレーダ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 油圧式・フレッド幅3.1m	3.46	14,800	15,300	2	3
3	K2	ロードローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] マカダム・質量10~12t・締固め幅2.1m	2.73	11,100	11,700	2	1
4	K3	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 質量8~20t	2.55	10,400	10,800	1	1

P'積算地区補正単価 = 545.8

$$\times \left\{ \left(\frac{3.46}{100} \times \frac{15,300}{14,800} \times \frac{2}{3} + \frac{2.73}{100} \times \frac{11,700}{11,100} \times 2 + \frac{2.55}{100} \times \frac{10,800}{10,400} \right) \times \frac{9.54}{(3.46 + 2.73 + 2.55)} \right.$$

- ・ 分母が「1」の場合、計算式では分子掛率のみ表示されます。
また、分子掛率と分母掛率の両方が「1」の場合、計算式には掛率が表示されません。

4. 計算根拠をコピーする

画面左下部の  をクリックします。

施工パッケージ計算根拠がクリップボードにコピーされますので、Excel 等へ貼り付けてご利用下さい。